Horizon



取扱説明書



このたびは ProMARK FG10 をお買い上げいた だき、まことにありがとうございました。 ご使用になる前にこの取扱説明書をお読みにな り、よくご理解いただいた上で本機の操作、保 守を行ってください。 またいつでもお読みになれるように保管場所を 決めてご活用ください。



ProMARK FG10 のセット内容



- ① ProMARK FG101 台
- ナイフ・カッタヘッド......1個 (ペンホルダ・ナイフホルダ用)
- ③ ヒート・カッタヘッド......1個 (ヒート刃用)
- ④ ヒート刃交換ツール......1本
- 清掃ブラシ.....1本
- ⑦ ピンセット......1本

8	取扱説明書1冊	
9	保証書1冊	
10	サンマーク見本帳 1 冊	
1	インストール CD-ROM 1 枚	
	(WindowsXP[一部対応不可]/Vista/7用)	
12)	USB 通信ケーブル 1 本	
	(WindowsXP[一部対応不可]/Vista/7 用)	

ご使用上の注意1					
ProMARK FG10のセット内容					
使い方					
1.運転準備をする	4				
2.マーク倶楽部から、データを受信してカットする	4				
3.Windows アプリケーションソフトから、データを受信してカットする	5				
4.メインメニュー	6				
5.カットデータを読み込む	6				
6.カットデータを編集する	7				
7.カット条件を設定する	11				
8.カットする	14				
ヘッドの交換(ナイフ⇔⇒ヒート)	19				
カットシートのセット	20				
点検と保守					
1.両面タックシールの貼り替え	21				
2.ヒート刃の清掃	22				
3.ヒート刃の交換	23				
4.ナイフ刃の交換	24				
5.ペン替え芯交換	27				
6.消耗品	27				
7.本機の梱包の仕方	28				

使い方

- 1. 運転準備をする
 - 1.1 USB ケーブルで、パソコンと FG10 を接続する
 - 1.2 電源プラグを AC コンセントに差し込む

マーク倶楽部を使ってカットするとき(プロッタモード)→ 2 へ進んでください。

Windows アプリケーションソフトを使ってカットするとき (イメージカットモード) → 3 へ進んでください。

- 2. マーク倶楽部から、データを受信してカットする
 - 2.1 FG10の電源を入れる
 - 2.2 プロッタモードを選ぶ



2.3 カットデータを待ち受ける



- 2.4 マーク倶楽部を立ち上げ、カットデータを送信する
 - マーク倶楽部の詳しい使い方は、マーク倶楽部取扱説明書をご覧ください。
 - マークボード、またはイメージボードからカットボードにデータを送信すると、カットボードのデータを FG10に送信できるようになります。



カットデータを送信した後は FG10 で操作を行います。4 へ進んでください。

3. Windows アプリケーションソフトから、データを受信してカットする

3.1 FG10の電源を入れる

3.2 イメージカットモードを選ぶ



3.3 図形のあらさを設定する



3.4 カットデータを待ち受ける



3.5 Windows アプリケーションソフトから、印刷出力する 出力先のプリンタとして、「Horizon Cutman」を選んで、印刷します。

データを印刷した後は FG10 で操作を行います。4 へ進んでください。

使い方

4. メインメニュー



操作メニューを選びます。

ヨミコミ: カットデータを読み込みます。再度データを読み込みたい場合は こちらを選択します。5へ進んでください。

ヘンシュウ:カットデータの倍率を変更したり試し書きを行うことができます。 カットを始める前に試し書きすることをお勧めします。6 へ進んでください。

セッテイ:カット速度や温度などのカット条件を設定できます。使用するシートに合わせて設定してください。また、ナイフの補正を行うこともできます。 7 へ進んでください。

カット:カットを行います。8 へ進んでください。

- 5. カットデータを読み込む
 - ・マーク倶楽部を使う場合(プロッタモード)は、2.4 2.3 を参照してください。
 - Windows アプリケーションソフトを使う場合(イメージカットモード)は、3.3 3.4 3.5 を参照してください。

6. カットデータを編集する

6.1 図形枠検出モードを設定する



6.2 カット位置を補正する(図形枠検出モード自動[AUTO]、手動[MANUAL]のとき)
 シートの輪郭位置と、カット位置の位置ズレを補正できます。
 補正値は、X(よこ方向)、Y(たて方向)各0.1 mm単位で、設定できます。
 フヤス、ヘラスボタンで 値を変更し、セットボタンで決定します。



6.3 たて倍率を設定する(図形枠検出モードが OFF のとき)



「アリ」に設定します。

17147 10101P1



試し書きの形状に問題がなければ、カット条件を設定します。 メインメニューで「セッテイ」を選択し、7 へ進んでください。

試し書きの形状に問題がある場合は、6.2~6.7へ戻り、編集をやり直してください。

7. カット条件を設定する

使用するシートに合わせてカット条件を設定してください。マーク倶楽部であらかじめ設定しておくこともできます。

取り付けられているヘッドによって設定できる項目が違います。使用するヘッドが取り付けられていることを確認してください。ヘッドの交換の方法は19ページで説明しています。

シート名	サイズ Х	サイズY	ヒートヘッド / ナイフヘッド	反転	温度	圧	カット 速度
サンクロス	500	450	ヒートヘッド	なし	420	-	3
サンシルキー	500	430	ヒートヘッド	なし	420	—	3
サンソフト	500	450	ヒートヘッド	なし	420	—	3
サンメッシュニット	500	480	ヒートヘッド	なし	420	-	3
昇華クロス	500	450	ヒートヘッド	なし	470	-	3
昇華シルキー	500	430	ヒートヘッド	なし	420	—	3
フィットラバー	500	460	ナイフヘッド	あり	—	2	5
マットフィットラバー	500	460	ナイフヘッド	あり	—	2	5
ソフトラバー	480	430	ナイフヘッド	あり	—	2	5
撥水ラバー	500	450	ナイフヘッド	あり	—	2	5
発泡ラバー	480	430	ナイフヘッド	あり	—	2	5
メタルラバー	480	430	ナイフヘッド	あり	—	2	5
反射ラバー	430	280	ナイフヘッド	あり	—	2	5
サンスターチ	400	290	ナイフヘッド	あり	—	1(注)	5
サンブライト	500	450	ナイフヘッド	あり	—	2	5
サンプリント	500	380	ナイフヘッド	あり	—	1(注)	5
サンスティック	500	450	ナイフヘッド	なし	—	2	5
イベントラバー	500	460	ナイフヘッド	あり	—	3	5
サンスターチⅡ	500	500	ナイフヘッド	あり	—	2	5
転写紙 BLANC	420	297	ナイフヘッド	なし	—	1(注)	5
製版シート F22	420	490	ナイフヘッド	なし	—	3	5

(注)圧「1」でも切り抜く可能性があります。刃の出代を素材に合わせて調整してください。

7.1 カット速度を設定する



7.2 カット温度を設定する(ヒートヘッド装着時)



7.3 刃を選択する(ナイフヘッド装着時)

ナイフ刃は標準 0.5 と標準 0.25 の 2 種類が使用できます。



7.4 ナイフ圧力を設定する(ナイフヘッド装着時)



本製品を購入後、最初に使用するときや、使用するシートを変更するときはナイフ補正を 行います。7.5 へ進んでください。

前回と同じシートを使用する場合はカットを行います。 メインメニューで「カット」を選択し、8 へ進んでください。

7.5 ナイフ補正値を設定する(ナイフヘッド装着時)



7.6 ナイフ補正値を確認(作図)する(ナイフヘッド装着時)



数値を上げてください。

17147 10201N1 8. カットする

図形枠検出モードが OFF の場合は 8.1 で説明しています。 図形枠検出モードが自動の場合は 8.2 で説明しています。 図形枠検出モードが手動の場合は 8.3 で説明しています。

- 8.1 カットする (図形枠検出モードが OFF のとき)
- 8.1.1 カット個数を設定する





8.1.2 たてのカット個数を設定する



8.1.3 よこのカット個数を設定する



8.1.4 カット開始位置を設定する

1 カットシートをセットします。(20 ページ参照)



8.1.5 カットを開始する



8.2 カットする (図形枠検出モードが自動のとき)



8.2.1 図形枠の検出を開始する

カッタヘッド移動ボタンで、センサーカバーのコーナーが、図形枠の左手前コーナーの真上になるように、 カッタヘッドを移動させます。



8.2.2 カットする

図形枠が正常に検出できると、次のような表示になります。



8.3 カットする(図形枠検出モードが手動のとき)

手動の場合には、P1、P2の位置を、手動で指示します。

P1:図形枠の左手前のコーナー

P2:図形枠の右奥のコーナー

指示方法は、カッタヘッド移動ボタンで、センサーマーカが、指示したいコーナーの真上にくるように、カッ タヘッドを移動させます。



8.3.1 P1のコーナーに仮移動する









8.3.3 P2のコーナーに仮移動する



8.3.4 P2のコーナーを指示する







点検と保守

1. 両面タックシールの貼り替え



2. ヒート刃の清掃



刃の清掃はやけど防止のため25分以上刃を冷やしてから行ってください。刃を 水等で冷却することはやめてください。ヒータが破損します。

▲ 注意

ヒート・カッタヘッドを外した上で付属のブラシにてヒート刃の清掃を行ってください。



3. ヒート刃の交換



- 3.1 電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 3.2 ヘッドを外します。

・ヒート・カッタヘッドのツマミネジをゆるめて、手前に引きます。





- 3.3 刃をはずし、新しい刃と交換します。
 - ヒート刃交換ツール(レンチ)を刃から入れて、ナットをは ずします。新しい刃と交換してナットを締めます。

 ・ 重要

 ナットの締めすぎに注意してください。以下の問題の原因になります。
 ・ヒーター断線
 ・刃先が焼き付き、外せない
 ・その他の刃先固定部品の変形



- 3.4 ヘッドを付けます。
 - ヘッドの穴を凸部に入れて、ツマミネジを締めます。



4. ナイフ刃の交換





4.1 ナイフホルダーの刃先調整ツマミを緩めナイフ刃を取り出します。



- 4.2 キャップをゆるめて取り外し、スリーブを抜き取ります。
 - 外れにくい場合は、ナイフ交換ツールを使って押し出します。



- 4.3 刃先調整ツマミを取り付けます。
 - 全て締め込まず、2 ~ 3 mm すき間のある状態にします。



4.4 ナイフ刃をスリーブに通します。



- ・標準 0.5 の場合は、ベアリングのない側へ刃を通します。
- ・標準 0.25 の場合は、ベアリングのある側へ刃を通します。



4.5 ナイフホルダーに刃を入れ、キャップを取り付けます。止まるまで締めます。



- 4.6 刃先調整ツマミを回して刃をキャップの先端から出ない位置に調整します。
 - いったん刃を少し出し、戻しながらキャップに完全に隠れた状態にします。



- 4.7 上記の状態から、ツマミを一回転して、刃をわずかに出します。 ツマミ 1 回転で 0.5mm 刃が動きます。
 - •わずかとは約0.1mm くらいのことです。普通の紙の厚みが0.1mm です。



- 4.8 出代の確認をします。
 - 2 枚重ねた普通の用紙(このマニュアルの用紙程度)の上にナイフホルダーを垂直に立てて、用紙 の方を引っぱります。
 - 1 枚目の用紙に切れ目ができていれば、出代は約 0.1mm です。



4.9素材に合わせて出代を調整します

•実際にカットする素材を貼り付けてテストカットを行い、素材に合わせて出代を調整してください。

4.10使用後、ナイフホルダーを保管するときは、キャップをゆるめて刃を隠します。

• 再び使用するときは、キャップを締めてください。刃の出量は調整した状態が保たれています。





- 5. ペン替え芯交換
 - 5.1 ペンホルダを外して、新しいペン替え芯と交換します。



6. 消耗品



7. 本機の梱包の仕方

修理をご依頼される際など、本機を梱包する場合は、以下の手順で行ってください。 7.1 ヘッドを外し、レールを真ん中に寄せます。



7.2 下図の梱包材をヘッド側に差し込みます。



7.3 梱包材がフレームに当たるまで、レールを矢印方向に寄せます。



7.4 反対側も同様にはめこみます。



- 7.5 バンドで本体を固定します。
 - バンドをレールに通し、端から 30cmくらいのところで輪っかを作り、バンド固定具に通します。 レールの向かい側も輪っかを作り、バンド固定具に通します。



7.6 バンドを左右から引っぱり、レールをしっかりとしばります。

• バンドは梱包材に近づけて締めてください。



7.7 機械の下にバンドを通し、下図の位置でバンド固定具で固定します。



- 7.8 反対側も同様にバンドで固定します。
- 7.9 ヘッドも返送する際は、箱にヘッドを入れ、下図の枠内に箱を入れます。



- 7.10本体を箱に入れます。
 - 機械のゴム足が矢印 A のくぼみにはまるようにして箱に入れます。箱に入れたら、矢印 B のコーナー に本体がはまるようにセットします。



- 7.11 下図の梱包材を機械の前後・左右に入れます。
 - 丸い穴が空いた方を機械の前後にはめこみます。



7.12梱包材(上)をコーナーにはめこみます。



7.13下図の梱包材を上に置き、箱を閉じます。





ホリゾン・インターナショナル株式会社 H&F事業部 〒180-0005 東京都武蔵野市御殿山1-6-4 TEL.0422-48-5119(代) FAX.0422-48-5009 www.horizon.co.jp

